

自主グループ紹介(7)



【英語で遊ぼう】

▽活動内容: 幼児英語リトミック教室

▽活動日: 第1・3・5水曜日
▽メンバー: 5名

■指導: 一箭真理子さん...英語の歌や音楽に合わせてお母さんと子どもが身体を動かしてスキンシップを図ります。楽しみながらほんものの英語に触れることで英語の音声に対する感覚を身につけることも、親子で英語の絵本を読み合ったり、親子で英語の絵本を読み合ったりして感性も育てています。未就園児から小学生までが対象です。



【ソレステレージャ奈良2002】

▽活動内容: 少年サッカー

■代表: 塚本 茂さん・二名 登美ヶ丘地域を中心に活動している小中学生のチームです。合わせて150人、県内では最大規模のサッカークラブです。

公民館は保護者会などで使わせてもらっています。小学生には、サッカーのおもしろさを、中学生には心身を育みつつサッカー技術と戦術理解を、勝ち負けに優先させて指導しています。また、中学生が幼稚園を訪問して園児たちとサッカー遊びをしています。



【寒雷奈良二名句会】

▽活動内容: 俳句

▽活動日: 第2金曜日
▽メンバー: 7名

■代表: 森岡 暁子さん・加藤楸邨先生の結社「寒雷」の流れをくむ俳句会です。毎月1回集まって井浪立葉先生の指導のもと、互いの作品を評しあっています。遠慮なくいふ合点のよい句に仕上がります。それらの句は、俳句誌に投句しています。俳句に関心のある方ぜひのぞいてみてください。

今月の一句

- 石投けて心からつぼ白木樫 立葉
- 鬼灯を鳴らし少女の夢想の 若子
- 無縁塚土塊とならずはまじき 若子
- 溪底より法師弾の声のほりくる 艶子
- 秋明菊散り重なりし白さかな 艶子
- もの影伸ばし釣瓶落てしかな
- 式年造替終へし大社に秋陽射す 尚子
- 秋晴や本殿に朱の甍の 静代
- 朝の塵子かまきりを拾ひ上げ 静代
- 生駒嶺の暮れなつむ空秋燕 かの子
- 離れ家へ紅葉明かりを抜けて来し かの子
- 秋霖の止むに気配して軒雀
- わが視野のわが歩に添ひて赤こんぼ 暁子
- 桐一葉地に着くまでを怠らぬ



二名ギャラリー

雅 絵手紙クラブ



㊦山村真紀子さん(二名)・㊦奥村朋子さん・㊦松本寿賀子さん(学園赤松町)





二名公民館だより

公益財団法人
奈良市生涯学習財団 二名公民館
奈良市学園赤松町 3684 番地
TEL & FAX 0742-46-9113
発行人 館長 上田 善紀
発行日 平成30年9月14日(金) 第7号



小学3年ながら、しっかりとノミを使って
節を取る森村 優衣さん(二名小3年)



しっかり腰をすえて…、
川人 友奈さん(青和小6年)

夏休み!! こども講座特集

流しそうめん
小学3年から6年までの小学生30人が8月3日(金)、流しそうめんを楽しみました。
1本の太竹を切って、まずは器づくり。10人ずつ3班に分かれて3人の指導者の方に教わりながら一人一人が竹を切ったりふしをノミで削ったりする体験をしました。



かくして、総勢30人の流しそうめんが始まりました。

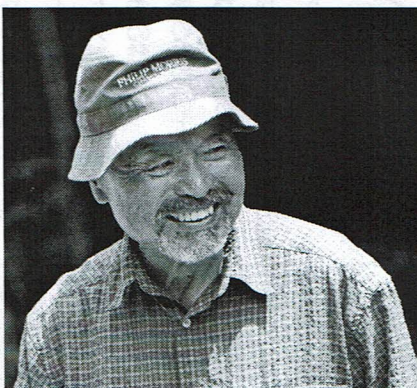
- ◎河村 優志くん(登美ヶ丘小5年) …「400円食べ放題」で、おなかいっぱい食べました。
- ◎葛西 えりかさん(青和小3年) …フルーツがおいしかったよ。のこぎりの使い方がじょうずやとほめてもらいました。



■野末 菜央さん(青和小6年) …
のこぎりを使うのが難しかったけど優しく教えていただいたのでうれしかったです。

■兵庫 大晟くん(登美ヶ丘小6年) …
竹きりから節取りまで協力し合ってきたことが楽しかった。

■北神 徳真くん・悠真くん(二名小3年) …
(帰ってお母さんにいったこと) すこく楽しかったよ。いろんなものが流れてきたよ。ゼリーもあったよ。わらびもちのデザートまであったよ。おなかいっぱいではんこまんさんくした。



子どもたちの活動に やさしい
まなざしを向ける 徳高 壽一さん

■指導していただいた徳高 壽一さん(学園緑ヶ丘) …年齢にかかわらず、ノミやのこぎりを使える子が多く驚きました。腰の入れ方でわかります。ほかの友だちができないことができるところをうれしく思っているようですね。みんな、のみこみがよくしかかったです。

紹介

采女祭(うねまつり)

猿沢池に入水した采女の悲話にまつわる行事が9月23日、24日 采女神社などで催されます。

そのおりに当館自主グループの指導者である中橋 恰子さんが、奉納神事の1つとして船上でうたの公演をされます。24日(土) 18時頃に始まります。

※問合せ 二名市観光協会

二名の樹樹

公民館を利用されている多くは、シニア・シルバー世代の方です。この紙面でそれぞれのグループの活動ぶりについて紹介していますが、実に生き生きとしたみなさんの表情を、毎回のよう

に拝見しています▼
「野外活動研究家」というお立場の徳高 壽一さんもしかり。燻製づくりを始め、多彩な技能を備えていらっしゃる言動にとても魅力を感じます▼これまでの人生の中で醸成し蓄えてきたさまざまな技量やたしなみを持つシニア・シルバー世代の方々とコミュニケーションできることで、私もまた多くのことを吸収しています。これこそが、公民館職員の特権ではないかと思っております。

